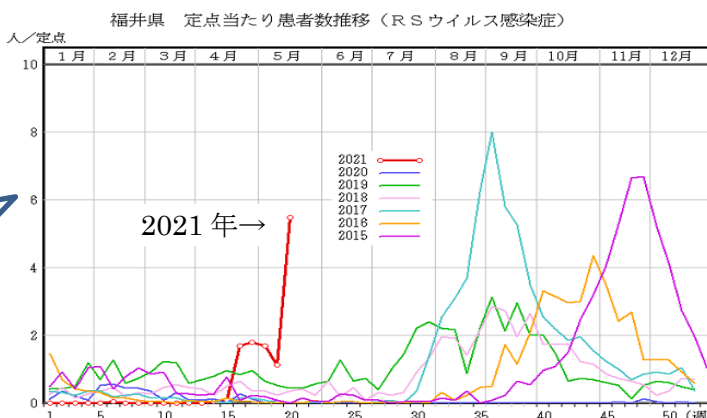




元気いっぱい

ほけんだより
令和3年6月臨時号
福井市子育て支援課

RSウイルスやウイルス性胃腸炎が流行しています！



現在、昨年と同じ時期に比べ、RSウイルスの感染者が非常に多くなっています。

【RSウイルス】

感染経路	飛沫感染、接触感染	
症状	咳、鼻汁など	
特徴	乳幼児期(特に生後6か月未満)に初感染すると、症状が重くなる可能性があります	
登園のめやす	呼吸器症状がなくなり、全身状態がよいこと	
予防方法	◎手洗いや咳エチケットを行いましょう。 ◎鼻汁や唾液が付いた場合は、アルコールなどで消毒しまししょう。 ◎咳が出ている場合には、マスクを着用しまししょう。 ※(2歳児未満、並びに自分でマスクを外すことが出来ない園児は、着用について検討が必要です。)	

【ウイルス性胃腸炎：ノロウイルス感染症】

昨年は、ほとんど流行していませんでしたが、今年は一昨年と同様流行しています。また、消毒を徹底しても、なかなか治まらないのが現状です。

感染経路	経口感染、飛沫感染、接触感染、空気感染	
症状	嘔吐、下痢など	
特徴	感染力が強い	
流行中の登園のめやす	嘔吐・下痢等の症状が治まり、普段の食事がとれる ※前日に嘔吐している場合、登園は控えましよう	
予防方法	◎ウイルスは、便中に3週間以上排出されることがあるため、排便後やおむつ交換後は、手洗いを徹底しまししょう。 ◎嘔吐物については、乾燥すると空気中に舞い上がって感染することがあるため、素早く次亜塩素酸ナトリウム(ハイター)などで処理しまししょう。また、窓を開けるなど空気の入替えをしまししょう。	



その他、これらの感染症を防ぐためにも、免疫力をつけることが大切です。毎日食事・睡眠をしっかりとり、生活リズムを整えましよう。

※発熱や風邪症状がある場合は登園を控え、かかりつけ医や囑託医等に相談しまししょう。かかりつけ医がない場合や診療時間外の場合は、下記に相談しまししょう。

受診・相談センター TEL：20-0795